内閣総理大臣　小泉 純一郎様
衆議院議長　河野 洋平様
参議院議長　扇 千景様
外務省欧州局ロシア課　御中
経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部石油天然ガス課　御中

太平洋パイプライン計画への日本の協力・融資に関する要望

＜アムール湾西岸に生息する絶滅寸前のヒョウの生息環境保全の観点から＞

● 太平洋パイプライン計画（東ｼﾍﾞﾘｱ･太平洋石油ﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝ計画）におけるターミナル建設予定地の手前には、ユネスコ MBA 生物圏保存地域にも指定されたロシア最古の国立自然保護区が存在します。この保護区内及びその周辺には、近年 NHK の科学番組などを通じて本邦でもその存在を知られるところとなった絶滅寸前のアムールヒョウ〈*Panthera pardus* ssp. *orientalis*〉を始めとする、ロシア連邦の絶滅危惧種リスト記載 325 の陸生種の 31%(うち 15%がその地域にしか見られない固有種)が生息しています。ターミナル建設予定地が現計画どおりである限り、これら保護区内外の絶滅危惧種と貴重な生態系への深刻な悪影響は避けられません。
また、同地域の南西にはロシア唯一の海洋保護区も存在し、アムール湾の構造や気象条件などの要因により、油流出事故の発生リスクは他の候補地と比較して 17 倍高いともいわれており、事故に至れば、ターミナル周囲の海洋環境及び水産資源はもちろん、海洋保護区に対しても深刻な悪影響をもたらす危険があります。

● しかし、ターミナルの建設場所を現在計画にあるアムール湾西岸（ペレボズナヤ湾）から僅か数十 km 東のナホトカ湾近辺へ変更するなどの手段によって、これらの危険も十分に回避することができます。

● 日本政府はターミナル施設の建造予定地がアムール湾・ペレボズナヤ湾付近である限り、同計画に対する国際協力銀行などを通じた公的融資を行わないこと、及び、民間融資を支援・促進しないことを要望いたします。

氏名	住所

◆ 呼びかけ団体

野生生物保全論研究会（JWCS）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2 丁目 5 番 4 号 末広ビル 5 階　TEL/FAX 03-3595-1171
国際環境 NGO エフ・オー・イー・ジャパン（FoE Japan）
〒171-0031 東京都豊島区目白 3 丁目 17 番 24 号 綜合設計機構ビル 2 階　TEL 03-3951-1081　FAX 03-3951-1084

◆ 記入した署名の送り先・締切り

2006 年 2 月末までに FAX/郵送で JWCS(03-3595-1171) 又は FoE Japan(03-3951-1084)へお送り下さい。